

防災・日本再生シンポジウム

2011年東北地方太平洋沖地震はどのような地震だったのか？ －これまでにわかったこと、これからの課題－

東日本大震災によって2万人もの方々が亡くなくなったり、行方不明となられており、地震から半年以上が経過した現在も7万人以上の方々が避難生活を余儀なくされています。亡くなられた方々のご冥福を祈るとともに、被災されたすべての方々に心よりお見舞い申し上げます。

東日本大震災を引き起こしたマグニチュード9.0の2011年東北地方太平洋沖地震を事前に予測できなかったことは、地震の発生予測を通じて地震災害の軽減を目指している私たち地震学者にとって痛恨の極みであり、自分たちの無力さを痛感しております。一方で、地質学の最近の研究では、過去に貞観地震等の巨大地震が発生したという成果が出されており、地震発生予測の見直しが検討されはじめていました。

将来、二度とこのような悲しい思いを繰り返さないために、今、私たちが成すべきことは、今回の地震がどのようにして起こり、なぜそれを事前に予測できなかったのか、今後なにを研究するのか、を明らかにすることです。これらのことを常に念頭に置きながら、地震発生から約半年間を研究に努力してきました。本シンポジウムでは、私たちのこれまでの研究で明らかになってきたことについて、被災された方々をはじめ市民の皆様にはわかりやすくお伝えすることを目指しております。

日時：平成23年10月22日（土）
13:00～16:30

場所：仙台国際センター3F中会議室 白樫1（しらかし）
仙台市青葉区青葉山 電話022-265-2450

【プログラム】

- 13:00 開会あいさつ：海野 徳仁（東北大学地震・噴火予知研究観測センター センター長）
- 13:05 M9の地震が何故起こりえたのか？－現在までにわかったこと－
松澤 暢（東北大学地震・噴火予知研究観測センター教授）
- 13:55 東北地方太平洋沖地震－宮城県沖で何が起こったのか？－
日野 亮太（東北大学地震・噴火予知研究観測センター准教授）
- 14:45 休憩
- 14:50 地震はどこでどのように準備を進めているのか－その解明に向けた海底地殻変動観測の強化－
藤本 博己（東北大学地震・噴火予知研究観測センター教授）
- 15:40 地層から見た貞観地震と東北地方太平洋沖地震の比較
岡村 行信（産業技術総合研究所活断層・地震研究センター センター長）
- 16:30 閉会

入場無料

※当日参加を受け付けますが、WEBフォームより事前受付を行った方を優先とさせていただきます。
(高校などからの団体やグループで参加される場合は、代表の方が登録して下さい)

申込み先はこちら：<http://www.sci.tohoku.ac.jp/ja/sympo/uketsuke.html>

主催：国立大学法人東北大学大学院理学研究科 地震・噴火予知研究観測センター、
一般社団法人国立大学協会

協力：国立大学法人東北大学大学院理学研究科 教育研究支援部アウトリーチ支援室

○お問い合わせ先

[シンポジウムについて]

東北大学地震・噴火予知研究観測センター

電話：022-225-1950

[参加申込みについて]

理学研究科教育研究支援部アウトリーチ支援室

電話：022-795-6707

